

特定非営利活動法人海の自然史研究所
第 5 期 事業報告

■事業の概況

第 5 期も第4期に引き続き、教育事業では、海の科学教育プログラム MARE の全国水族館や海のビジターセンターとの協働による実施普及が中心活動となりました。研究事業では、学術研究分野および教育普及啓発に関する活動で一定の業績を挙げることができました。特に、沖縄県大浦湾における WWF-Japan による生物多様性調査(甲殻類)への参加では、少なくとも 36 種類の新種発見につながる活動となりました。

■教育事業概要

1. MARE の普及および実践

1) 日本版 MARE 制作: 日本財団助成

2010 年 3 月末までに、新たに 12 アクティビティのティーチャーズガイド製作に着手し、4 アクティビティの完成を目指しています。

2) MARE プログラム補助教材の製作: 日本財団助成

ティーチャーズガイド制作と同時に、各プログラムの補助教材を製作しています。

3) 「海を学ぼうプログラム」の開催: 日本財団助成

4) 大人向け MARE 体験会・意見交換会の開催: 日本財団助成

5) MARE 指導者養成講座(ワークショップ)の開催: 日本財団助成

日本各地の水族館や海のビジターセンターで MARE を活用した海を学ぼうプログラムを実施しました。同時にプログラムに興味を持ってもらうことを目的として、大人向けにいくつかのアクティビティの体験会を実施しました。

以下、実施実績です。

1 月 10 日	名古屋港水族館で県内小学生に MARE 実施および体験会	今宮・平井
1 月 11 日～ 12 日	名古屋にて MARE リーダー養成講習会 あいちワークショップを実施	藤田・今宮・ 平井
1 月 24 日～ 25 日	東京にて MARE リーダー養成講習会 とうきょうワークショップを実施	藤田・今宮・ 平井
2 月 14 日～ 15 日	沖縄にて MARE リーダー養成講習会 おきなわワークショップを実施	藤田・今宮・ 平井
5 月 8 日	千葉県立博物館・海の分館で実施 千葉県の小学校に MARE 授業	今宮・平井
5 月 31 日	北海道帯広にて MARE 体験会実施	今宮・平井
6 月 15 日 ～16 日	福井県海浜自然センターと、若狭町 2 小学校で MARE 授業実施	藤田・今宮・ 平井
7 月 18 日～ 20 日	東京パナソニックセンターで MARE 実施	平井
7 月 18 日～ 8 月 31 日	沖縄県の都市型ホテルにて、観光客向けに MARE プログラム実施	今宮・平井
9 月 26 日 ～ 27 日	北海道にて MARE リーダー養成講習会 おびひろワークショップを実施	藤田・今宮・ 平井
10 月 17 日 ～18 日	鹿児島にて MARE リーダー養成講習会 かがしまワークショップを実施	藤田・今宮・ 平井
11 月 1 日	埼玉県入間市青少年向けイベントにて子ども向け MARE 授業を実施	藤田・今宮・ 平井
11 月 5 日 11 月 6 日	東京都町田市の小学校にて MARE 授業実施	今宮・平井
11 月 21 日 ～22 日	宮城県南三陸町自然環境活用センターにて、MARE リーダー養成講習会実施	今宮・平井
11 月 23 日	宮城県南三陸町自然環境活用センターにて、MARE プログラムキット製作ワークショップ実施	今宮・平井

11月24日 11月25日	宮城県南三陸町の小学校にて MARE 授業実施	今宮・平井
11月26日 11月27日	宮城県仙台市の小学校にて MARE 授業実施	今宮・平井
12月12日	鹿児島水族館で MARE 実施	今宮・平井
1月30日 ～31日	東京にて MARE リーダー養成講習会 とうきょうワークショップを実施	今宮・平井
2月20日 ～21日	大阪にて MARE リーダー養成講習会 おおさかワークショップを実施	今宮・平井
2月27日	名古屋港水族館で子どもたち向けに MARE 実施	平井

8)MARE プログラムプロモーション活動

- ・3月13日～15日沖縄県石垣島で開催された海辺の環境教育フォーラムで、海の自然史研究所および M.A.R.E 説明のためのリーフレット配布と、ポスター掲示をおこないました。

2.COS(Communicating Ocean Science)コースの開発

- ・サイエンスコミュニケーション実践講座の開発=日本版 COSIA ティーチャーズガイド制作
 …サイエンスコミュニケーション実践講座としての COSIA コースを日本で開催するためティーチャーズガイド制作をおこないました。

3.「この先、海です」プロジェクト

- 1月18日 宮古島市総合博物館の子ども博物館事業にてプロジェクトを実施しました。
- 2月8日 石垣市のエコイベントにて、プロジェクトを実施しました。
- 2月12日 沖縄にて「この先、海です」プロジェクトリーダーワークショップを実施しました。
- 2月17日～3月10日 読谷小学校にて「この先、海です」授業を実施しました。
- 10月2日から 嘉手納小学校にて「この先、海です」授業を実施しました。
- 10月31日・11月3日 入間市青少年センターにて「この先、海です」授業を実施しました。

■研究事業計画概要

1.学術研究業績

2008年度は、以下の論文等と学会講演の研究業績を挙げました。

〈論文など〉

- 1)Shimomura, M., & Fujita, Y., 2009. First record of the thermosbaenacean genus *Halosbaena* from Asia: *H. daitoensis* sp. nov. (Peracarida: Thermosbaenacea: Halosbaenidae) from an anchialine cave of Minamidaito-jima Is., in Okinawa, southern Japan. *Zootaxa*, 1990: 55-64.
- 2)Obuchi, M., Kogo, I., & Fujita, Y., 2009. A new brooding feather star of the genus *Dorometra* (Echinodermata: Crinoidea: Comatulida: Antedonidae) from the Ryukyu Islands, southwestern Japan. *Zootaxa*, 2008: 61-68.
- 3)Naruse, T., Fujita, Y., & Ng, P.K.L., 2009. A new genus and new species of symbiotic crab (Crustacea: Brachyura: Pinnotheroidea) from Okinawa, Japan. *Zootaxa*, 2053: 59-68.
- 4)Saito, T., & Fujita, Y., 2009. *Odontozona crinoidicola*, a new stenopodid shrimp (Decapoda: Stenopodidea: Stenopodidae) associated with a comatulid crinoid from Ryukyu Islands. *Bulletin of the National Museum of Nature and Science, Series A (Zoology)*, Supplement 3: 123-135.
- 5)藤田喜久, 2009. 宮古島のオカガニ類. 宮古島市総合博物館紀要, 13: 53-70.
- 6)藤田喜久, 2009. 宮古島におけるミヤコサワガニの新たな生息地について. 宮古島市総合博物館紀要, 13: 71-76.
- 7)齊藤知己・藤田喜久, 2009. ホソウデヒトフシウミシダに共生するスベスベオトヒメエビ属(オトヒメエビ下目: オトヒメエビ科)の新種コマチスベスベオトヒメエビ(新称) *Odontozona crinoidicola* Saito & Fujita. うみうし通信, 62: 6-7.
- 8)藤田喜久, 2009. ミヤコサワガニの食性:デジタルカメラ撮影による直接記録. *CANCER*, 18: 11-15.

9) 藤田喜久, 2009. 宮古島から得られたキノボリエビ. 沖縄生物学会誌, 47: 29-31.

〈学会発表〉

- 1) 藤田喜久・今宮 則子・平井 和也, 2009. 研究成果を効果的に伝えるには? :米国の科学教育プログラム(MAREとCOS)の事例. 第56回日本生態学会, 盛岡.
- 2) 藤田喜久・永江万作・組坂遵治・松岡卓司・鈴木廣志, 2009. 琉球列島の飛沫転石帯に出現する十脚甲殻類について. 沖縄生物学会 第46回大会, 名桜大学.
- 3) 藤田喜久, 2009. 宮古島の洞穴地下水域から得られたテナガエビ属の1未記載種について. 日本動物分類学会 第45回大会, 名古屋港水族館
- 4) 平井 和也・藤田喜久・今宮則子, 2009. 海の科学教育プログラム MARE を活用した海洋リテラシー教育. 日本環境教育学会 第20回年会, 東京.
- 5) 藤田喜久・今宮則子・平井和也, 2009. 海岸環境保全のための新しい環境教育プログラム「この先、海です。プロジェクト」. 日本環境教育学会第20回大会, 東京農工大学.
- 6) 今宮則子・藤田喜久・平井 和也, 2009. 米国で開発された海の科学教育プログラム MARE の実践事例. 日本理科教育学会 第59回年会, 宮城.
- 7) 藤田喜久・今宮則子・平井 和也・都築 章子, 2009. 米国の科学博物館で開発された海洋科学コミュニケーション実践講座の概要～学習者の学び方について理論的に理解し、効果的な教授法を習得する～. 日本科学教育学会 第33回年会, 京都.
- 8) 藤田喜久, 2009. 沖縄の動物ありんくりん. 第11回日本進化学会大会ワークショップ「分類学者の抱えている面白ネタを進化学者に提供する」, 札幌(北海道大学).
- 9) Fujita, Y., 2009. Reproductive biology and early life history of two anchialine shrimps, *Caridina rubella* Fujino and Shokita, 1975 (Atyidae) and *Metabetaeus minutus* (Whitelegge, 1897) (Alpheidae), in Miyako-jima Island, the Ryukyu Islands. The Crustacean Society Summer Meeting in Tokyo.
- 10) Tsuzuki, A., & Suzuki, M., 2009. A Study of Science and Technology Communication at Higher Education Institutions in Japan. International Conference of East-Asian Science Education (EASE), Taipei, Taiwan.
- 11) 藤田喜久・大澤正幸・奥野淳兒・駒井智幸・成瀬 貫, 2009. 沖縄島大浦湾における十脚甲殻類の種多様性. 日本サンゴ礁学会第12回大会, 本部町(沖縄県).
- 12) 中野義勝・小淵正美・藤田喜久, 2009. サンゴ礁縁溝部の「ガレ場」ーベントス群集のハビタットとしての評価. 日本サンゴ礁学会第12回大会, 本部町(沖縄県).
- 13) 小淵正美・藤田喜久・中野義勝・上原剛・本川達雄, 2009. サンゴ礁「ガレ場」に生息するセソコヒメウミシダの繁殖生態. 日本サンゴ礁学会第12回大会, 本部町(沖縄県).
- 14) 則子・藤田喜久・平井和也, 2009. サンゴ礁保全のための環境教育プログラム「この先海です。プロジェクト」. 日本サンゴ礁学会第12回大会, 本部町(沖縄県).
- 15) 山岸 豊・平井和也・藤田喜久・今宮則子・中野義勝・笹渕紘平, 2009. サンゴ礁学習プログラム (Coral Reef Study) 開発. 修学旅行の事前・事後学習と組み合わせた実践普及. 日本サンゴ礁学会第12回大会, 本部町(沖縄県).

〈一般向け講演など〉

- 1) 藤田喜久, 「沖縄の自然環境とその価値:水圏研究者の視点から」, 浦添市市役所(2009年1月15日)
- 2) 藤田喜久, 「宮古島の自然環境の重要性について:水圏環境研究から」, サンゴ礁生態系保全活動推進事業 宮古島ワークショップ, 宮古島市市役所(2009年1月17日)
- 3) 藤田喜久, 「この先海ですプロジェクト! 雨水溝や道路側溝のチリ(ゴミ)はどこに行く?」, 宮古島市総合博物館 子供博物館 6年生コース 第4回「宮古の水環境を守るためにできること!」講師, 宮古島市(2009年1月18日)
- 4) 藤田喜久, 海の生き物塾特別編「生物の名前」, 読谷村(2009年2月13日)
- 5) 藤田喜久, 「慶佐次モニタリング」, 東村慶佐次旧公民館(2009年3月11日)
- 6) 藤田喜久, 「沖縄の生物多様性に挑む ~ 大浦湾・金武湾の甲殻類(エビ・カニ類)の種多様性の解明～」, 本部町, ホテルバルビュウ(2009年6月22日)
- 7) 藤田喜久, 「研究者自身による教育普及啓発活動の重要性」, WWF南西諸島生物多様性評価プロジェクト

- の第3回地域検討会, 那覇(2009年6月26日)
- 8) 藤田喜久, 「マクガンと人の暮らし」, 宮古島市総合博物館(2009年8月15日)
- 9) 藤田喜久, 「マクガンあれこれ」, 多良間村(2009年10月7日)
- 10) 「マングローブ環境と生物」, 大妻嵐山高校の修学旅行(2009年10月26日).
- 11) 「島の自然を伝えたい。生きた科学を伝えたい。」, 第4回CANPANブログ大賞&ソーシャルブロッガーフォーラム, 日本財団ビル(2009年11月7日).

<新聞連載>

- 1) 毎日新聞社のWEBサイト「毎日.jp」 「沖縄に生息するエビ・カニ類の種多様性」
- 2) 宮古新報(2009年8月27日掲載): 宮古カニあるき(1)湧水との出会い
- 3) 宮古新報(2009年9月3日掲載): 宮古カニあるき(2)ミヤコサワガニ
- 4) 宮古新報(2009年9月10日掲載): 宮古カニあるき(3)ウリガーテナガエビ
- 5) 宮古新報(2009年9月17日掲載): 宮古カニあるき(4)キノボリエビ
- 6) 宮古新報(2009年9月24日掲載): 宮古カニあるき(5)オハグロテッポウエビ
- 7) 宮古新報(2009年10月1日掲載): 宮古カニあるき(6)アシナガヌマエビ
- 8) 宮古新報(2009年10月8日掲載): 宮古カニあるき(7)ドウクツヌマエビ
- 9) 宮古新報(2009年10月15日掲載): 宮古カニあるき(8)チカヌマエビ
- 10) 宮古新報(2009年10月22日掲載): 宮古カニあるき(9)サキシマヌマエビ
- 11) 宮古新報(2009年10月29日掲載): 宮古カニあるき(10)オオテナガエビ
- 12) 宮古新報(2009年11月5日掲載): 宮古カニあるき(11)コンジテンテナガエビ
- 13) 宮古新報(2009年11月12日掲載): 宮古カニあるき(12)モクズガニ
- 14) 宮古新報(2009年11月19日掲載): 宮古カニあるき(13)タイワンベンケイガニ
- 15) 宮古新報(2009年11月26日掲載): 宮古カニあるき(14)クロベンケイガニ
- 16) 宮古新報(2009年12月3日掲載): 宮古カニあるき(15)コツノテナガエビ
- 17) 宮古新報(2009年12月10日掲載): 宮古カニあるき(16)オオヒライソガニ
- 18) 宮古新報(2009年12月17日掲載): 宮古カニあるき(17)ミナミオニヌマエビ
- 19) 宮古新報(2009年12月24日掲載): 宮古カニあるき(18)ヒラテテナガエビ

<博物館企画展協力>

- 1) 藤田喜久, 「マクガンと人の暮らし」, 宮古島市総合博物館(2009年7月22日~8月30日). 展示企画立案, 内容製作, 企画展冊子執筆を担当。
- 2) 藤田喜久, 宮古島市総合博物館 子ども博物館「宮古の湧水の観察会」の講師 (8月16日)

■ 関連事項

関連する以下の活動をおこないました。

3月5日	東京にて、サンゴ礁学習プログラムリーダーワークショップ開催	平井
9月5日~8日	学習院女子大学の集中講義	平井
9月15日~16日	埼玉県の高校にて、サンゴ礁学習プログラム授業を実施	平井
9月20日~22日	神奈川県で開催された海のネイチャーゲームステップアップセミナー参加	今宮・平井
10月14日	東京の国立高校にて、サンゴ礁学習プログラム授業を実施	平井